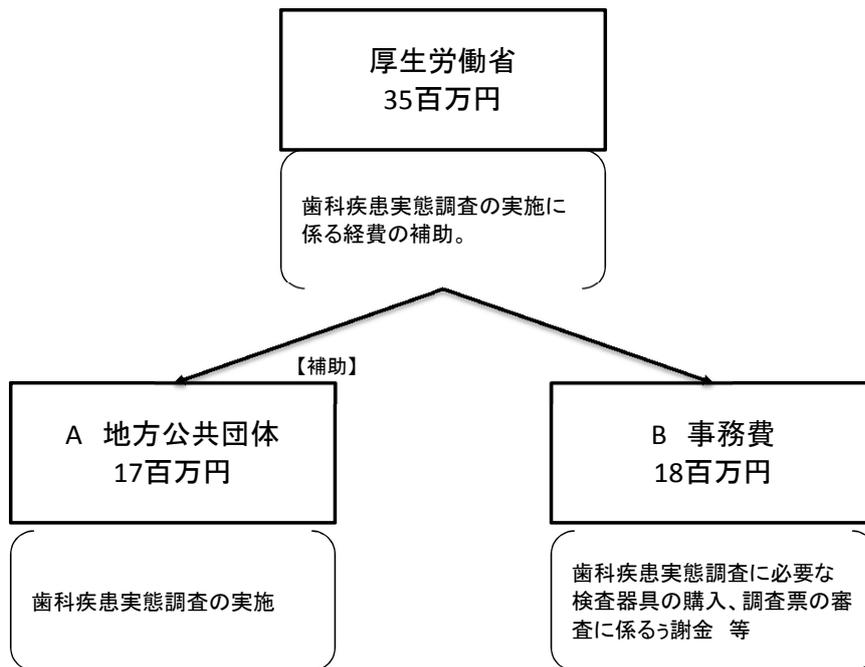


平成27年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

<b>事業名</b>		歯科疾患実態調査費		<b>担当部局庁</b>	医政局		<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始年度</b>	平成28年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	歯科保健課		課長：鳥山 佳則			
<b>会計区分</b>	一般会計			<b>政策・施策名</b>	I-1-1 日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること					
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	-			<b>関係する計画、通知等</b>	-					
<b>主要政策・施策</b>				<b>主要経費</b>	社会保障					
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	わが国の歯科保健状況を把握し、今後の歯科保健医療対策の推進に必要な基礎資料を得る。									
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	国民生活基礎調査により設定された単位区から層化無作為抽出した区内の世帯および当該世帯の満1歳以上の世帯員を調査客体とし、国民の歯の健康状況等を調査する。									
<b>実施方法</b>	直接実施、委託・請負									
<b>予算額・執行額</b> (単位：百万円)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	35			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
	計		0	0	0	0	35			
	執行額		-	-	-	-	-			
執行率 (%)		-	-	-	-	-				
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 28年度	
	調査票回収率を23年度調査(約28.4%)よりも高くする。		調査票回収率		成果実績	%	-	-	-	-
					目標値	%	-	-	-	28.4
					達成度	%	-	-	-	-
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標				単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	調査対象人数(28年度実施予定)				活動実績	人	-	-	-	-
					当初見込み	人	-	-	-	-
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠				単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	単位当たりコスト=X / Y				単位当たりコスト	百万円	-	-	-	-
	X:予算額 Y:調査対象人数				計算式	X / Y	-	-	-	-
平成27・28年度予算内 (単位：百万円)	<b>費目</b>	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由						
	諸謝金	-	1	「新しい日本のための優先課題推進枠」35						
	職員旅費	-	1							
	委員等旅費	-	1							
	庁費	-	15							
	保健福祉調査委託費	-	17							
	計	0	35							

事業所管部局による点検・改善			
項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	当事業は、わが国の歯科保健状況を把握し、今後の歯科保健医療対策の推進に必要な基礎資料を得ることを目的としており、歯科口腔保健の推進を進めるという社会のニーズを反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	当該調査事業は周期的に行っており、安心した医療を受けられるよう歯科疾患に関する情報収集を行い、歯科口腔保健推進に関する基礎資料となるものであり、国が実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	今後の歯科保健医療対策の推進に必要な基礎資料を得るために、調査客体を全国から無作為に抽出して調査を行うものであり、手段は必要かつ適切である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	-
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	-
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか	-	-
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	-
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-
	所管府省・部局名	事業番号	事業名
	-	-	-
点検・改善結果	点検結果	-	
	改善の方向性	-	
外部有識者の所見			
点検対象外			
行政事業レビュー推進チームの所見			
現状通り	事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
現状通り	-		
備考			
-			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年度	-	平成23年度	4
平成25年度	-	平成26年度	-

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補  
足する)  
(単位:百万円)

